

めいじ自治連

第62号 令和6年8月10日

発行人：明治地区自治町内会連合会

会長 三觜 清次

(事務局)

明治市民センター 地域づくり担当

電話0466-34-3444

残暑厳しきあり、各自治町内会の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から、明治地区自治町内会連合会の活動にご協力賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年度明治地区自治町内会連合会総会において、令和5年度事業報告・決算報告、役員を選出、令和6年度事業計画・予算について承認、可決されました。

令和6年度事業計画(予定)

- ・地引き網大会…6月30日(日)実施
- ・ふるさとまつり
10月26日(土)・27日(日)
- ・視察研修会 10月中
- ・賀詞交歓会 令和7年1月11日(土)
- ・明治地区まちづくり事業に関すること

自治連事業への多くのご参加、ご協力をお願いいたします。

役員紹介

役職	氏名	自治・町内会名
会長	三觜 清次	羽鳥本村町内会
副会長	松本 俊幸	城町内会
	神田 謙一	二ツ家町内会
	新井 孝志	柏木町内会
	小河 愛由美	共和自治会
会計	磯崎 三郎	四ッ谷町内会
総務	立川 昭夫	羽鳥南町会
	長崎 美奈子	打越会
監事	吉原 敏	辻堂新町町内会
	北島 健治	折戸町内会

令和6年度予算

(収入の部) (単位：円)

科目	説明	金額
会費	地域団体会費	286,755
賛助金	ふるさとまつり賛助金	183,860
参加費	地引網大会参加費等	650,000
雑収入	募金事務協力金(赤十字社資)、預金利子	44,003
繰越金	前年度繰越金	167,691
合計		1,332,309

(支出の部) (単位：円)

科目	説明	金額
事務費	通信費	10,000
	事務用品費	30,000
会議費	総会運営費	10,000
	役員会・全体会運営費	20,000
事業費	地引き網大会事業費	750,000
	ふるさとまつり事業費(ピンゴ大会等)	124,000
	ふるさとまつり賛助金	164,000
	自治連だより発行事業費	131,000
	視察研修会事業費	1,000
交際費	慶弔費	20,000
	藤沢市自治町内会連合会協議会負担金	6,000
予備費	予備費	66,309
合計		1,332,309

地引き網大会について

梅雨晴れ間の6月30日、恒例の明治地区自治町内会連合会主催の地引き網大会が多くの家族連れを含む673名で鵜沼海岸「堀川網」で開催されました。開会は鈴木藤沢市長の挨拶並びに三觜会長の挨拶で始められました。

網の引き上げまで未就学児及び小中学生計306名が宝探しゲームで楽しみました。地引き網は2網行われ、子供たちの



掛け声で水揚げされるたびに大きな歓声が響きました。網の中に湘南シラスや大きな魚が水揚げされ、漁獲物は小河総合司会の案内のもと参加者にお土産とさせていただきます。関係者の皆様方のご協力で無事終了できました。心より御礼申し上げます。



ふるさとまつりについて

ふるさとまつりは、10月26日(土)・27日(日)で実施する予定です。

明治郷土史料室だより

次回の企画展示をご紹介します。

三觜家第13代八郎右衛門(佐次郎氏)が、明治5(1872)年に著名な儒学者小笠原東陽先生を羽鳥の地に招き、この地域の子弟の教育に当たり「読書院」を開設しました。その後、明治11年に藤澤市の教育の先駆けとなる「耕餘塾」に改称されました。この塾で学んだ塾生の中で、村野常右衛門、平野友輔などが自由民権運動に参加活躍しているのは周知のことと思います。耕餘塾は、明治20年、小笠原東陽の他界により松岡利紀氏が2代目塾長として着任し、「耕餘義塾」と改称されました。耕餘義塾は、地元藤沢に限らず広く相州の地域から多くの塾生が学びました。当時の津久井郡青山村(現・相模原市)の平本雄一氏もその一人でした。塾生平本雄一氏は寄宿舎が同室であった吉田茂氏(元総理大臣)に依って日記を書くことにしたとされています。この資料は、当時の耕餘塾に関する貴重な塾生の生活記録として残されています。次回の企画展示にその一部を紹介し耕餘塾のことを知って頂きたいと思います。



自治町内会紹介 (羽鳥松和会)

鈴木 英行 町内会長

私たち羽鳥松和会は、明治中学校の近くにあります。世帯数50余りの小さな町内会です。最近では世間様の潮流と同様に高齢化の波におされ、何か行事を行う際にはなかなかメンバーが集まらないのが悩みの種ですが、街並みが静かで落ち着いていてゆっくりとした時間が流れているので、とてもゆったりと暮らすことができるという良い面もあります。高齢化と申し上げましたが、年に数件ではありますが引っ越し等で会員の入れ替えもあり、若い世帯を招き入れることもできています。全体としては高齢化の傾向は否めませんが、休日等に若いご両親と小さなお子様の遊ぶ声が聞こえてきて、幸せな気分を味わうこともできます。

また、各戸持ち回りで数十年続けられている火の用心の巡回も、防犯・防災面でとても役立っており、当番の引継ぎ等で町内会の会員同士の会話も増え、お互いの近況を確認しあう機会にもなっていますので、次世代にもつなげていきたい慣習となっています。年度末に実施される避難訓練もそうですが、お年寄りの方が多いこともあり、自然災害等が発生した際に重要な避難経路の確認や要介護者の方への声掛け方法等、町内会で話し合うべき議題も山積みではありますが、移り変わる時代とともに町内会の在り方も少しずつ見直しながら、会員が少しでも暮らしやすいように皆で知恵を出し合い助け合って行きたい、と普段から話し合っております。

あとがき

明治地区30自治町内会でそれぞれに抱えている問題は様々あるかと思いますが、明治地区全体で共通する問題として大きなものは加入率の低下ではないでしょうか。全体では60%を切っております。少しでも加入率を上げるべく、活動理解の一つの手段としてこの広報誌がお役に立てればと願っております。今後ともご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

明治地区自治町内会連合会編集委員一同